

## セミナー「米国住宅不況と林産業の現況」実施報告

(平成 21 年 2 月 4 日 林友ビル 6 階)

NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワークと日本木材総合情報センター共催の第二回目のセミナーが、平成 21 年 2 月 4 日（15:00～16:45）に文京区の林友ビル会議室で約 50 名の参加を得て開催されました。

講師の勝久彦次郎氏は、東京大学農学部卒業後、農林水産省林野庁で木材貿易等の行政に携われ、FAO 職員等を歴任された後、現在は、(財)日本木材総合情報センターのシアトル事務所の所長です。

北アメリカ及びロシアを始めとする世界の森林資源、木材需給・貿易・価格等について造詣の深い方

です。当日は、シアトル在住の現地感覚での「米国住宅不況と林産業の現況」というテーマで講演をいただきました。ちなみに、当 NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワークの会員でもあります。

講演の内容は、米国の経済危機は、実際に何が起ったのかを、サブプライムローン問題の構造、原因及び現状・今後の見通しなどについて持ち家率、住宅価格指数、フクロージャー、モーゲージの証券化率等のデータを使って解りやすく説明されました。また、今後の住宅着工予測、木材製品価格・生産量等並びにカナダを含めた針葉樹木材輸出入の実績等についても説明されました。結論としては、2009 年も引き続き米国経済は低迷し、住宅部門は不況から脱出することができず、したがって木材産業にとっては更に厳しい環境となるとのことでした。

質疑の時間には、参加者の関心の高さを反映して、多くの方々からオバマ政権になったの関連政策の方向、人口動態及び将来の住宅需要について、カナダの資源状況及び輸出政策等についての質疑がなされ、盛会のうちにセミナーを終了することができました。

当日は、マスコミ、商社等の関係業界及び元林野庁長官の加藤鐵夫氏など多くの方々にご参加いただきました。講演者、参加者をはじめ、関係者の方々に改めて感謝申し上げます。

